

レジメン名称: ABVD 療法 (DTIC375)

ホジキンリンパ腫

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

HBs 抗原 (+ -) HBc 抗原 (+ -) HCV 抗体 (+ -)

薬剤	投与量	投与日	
		1 コース 4 週間 Day 1.....8.....15.....2229	
エクザール	6 mg/m ² (最高 10mg)	↓	↓
ドキソルビシン	25 mg/m ²	↓	↓
ブレオ	10 mg/m ² (最高 15mg)	↓	↓
ダカルバジン	375 mg/m ²	↓	↓

レジメンオーダー以外に必要な処方

Day 1, 15 アプレピタント(125) 1 カプセル

Day 2-3, 16-17 アプレピタント(80) 1 カプセル 1×朝 内服

Day 2-4, 16-18 デカドロン (デキサメタゾン) 8mg 2×朝昼 内服

注意事項

ドキソルビシン:総投与量は 500mg/m² を超えないこと。

ドキソルビシン、エクザールは起壊死性抗がん剤です。血管外漏出に特に注意してください。

ブレオ:総投与量は 300mg 以下とすること。

ダカルバジンは血管痛予防のため点滴、ルートを遮光する。可能な範囲で部屋も暗くして下さい。

ABVD はダカルバジン 250 mg/m²、375 mg/m² の 2 種類がレジメン登録されています。

投与方法：1、15 日目	
1	内服：アプレピタント(125) 1 カプセル
2	生食 100mL ケモセーフロックの点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミングし、ゆっくり、ルートキープ 点滴筒（チェンバー）を 3/4 程度満たす
3	アプレピタント内服 30 分後に開始 グラニセトロン 3mg/100mL 1V、デキサート(3.3mg/1.0mL) 3A 30 分かけて点滴 メインルートから 終了後、メインルートを止める
4	エクザール _____ mg、生食 50 mL、ケモセーフロックのルートより投与、全開で
5	ドキソルビシン _____ mg、生食 50 mL、ケモセーフロックのルートより投与、全開で
6	ブレオ _____ mg、生食 50 mL、ケモセーフロックのルートより投与、全開で
7	ダカルバジン _____ mg、(1 パリアル注射用水 10mL で溶解)、5%ブドウ糖、全量 100 mL 1 時間で、ケモセーフロックのルートより投与、 点滴、ルートをすべて遮光
8	生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄